

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：10/29～11/2

・10/29(月)

国会論戦スタート、皇室、銃乱射とトランプ、「ブラジルのトランプ」大統領に、携帯料金値下げ、東京医科大学、就活ルールなどについてのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、国会論戦スタート、銃乱射とトランプについては放送法上問題と考えられる場面が見られました。また、「ブラジルのトランプ」大統領に、については印象操作の疑いのある場面が見られました。なお、就活ルールについては検証者の所感を記しました。

・10/30(火)

韓国徴用工訴訟、日本のオンライン授業がネパールへ、国会と消費増税、東京電力訴訟、辺野古基地、宮腰大臣、絢子さんと守谷さんの晩餐会などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、国会と消費増税の報じ方については問題のある点や印象操作の疑いのある場面が見られました。また、韓国徴用工訴訟や宮腰大臣というトピックについては検証者の所感を記しました。

・10/31(水)

徴用工判決、米・国境移民キャラバン、米・中間選挙、TPP 年末に発効、辺野古埋め立て、米・出生地主義廃止を検討、与那国町議長決まるなどのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、辺野古埋め立てについては放送法上問題と考えられる場面が見られました。また、米・出生地主義廃止を検討については検証者の所感を記しました。

・11/1(木)

衆議院予算委員会、移民キャラバンなどについてのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、衆議院予算委員会については判断のためには他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。また、衆議院予算委員会および移民キャラバンについては検証者の所感を記しました。

・11/2(金)

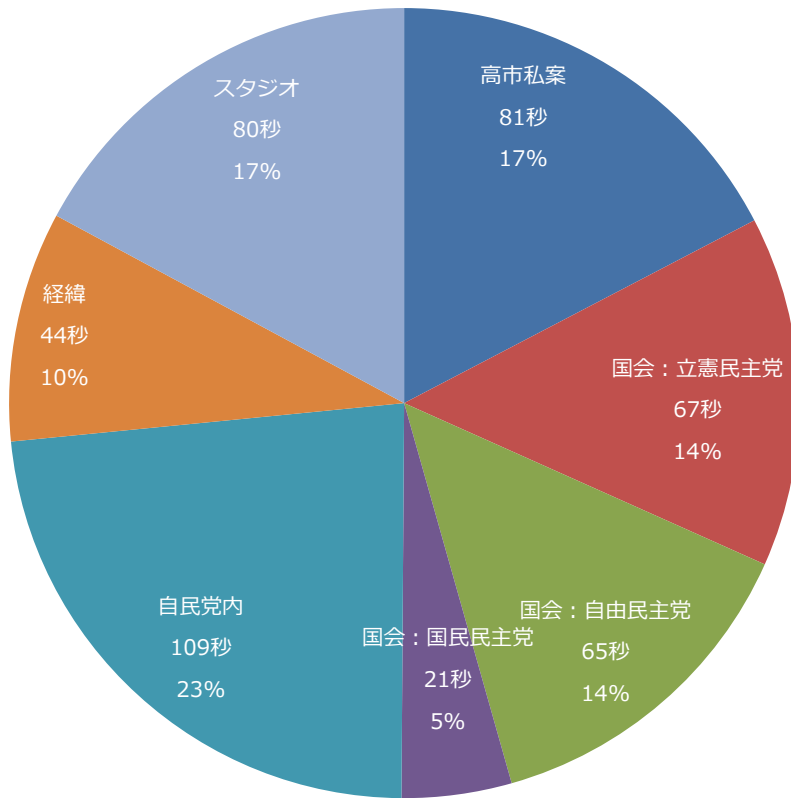
安田純平氏が拘束3年を語る、米中間選挙を前にムーア監督新作公開、入国難民法改正案が閣議決定、片山大臣の口利き疑惑に新事実、航空自衛隊 F2 戦闘機が接触事故、NHK 札幌局ディレクターが音声ファイルをアレフに誤送信などについてのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、米中間選挙を前にムーア監督新作公開、入国難民法改正案が閣議決定については問題と考えられる点が見られました。また、片山大臣の口利き疑惑に新事実については判断のためには他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月29日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：国会論戦スタート、皇室、銃乱射とトランプ、「ブラジルのトランプ」大統領に 携帯料金値下げ、東京医科大学、就活ルール		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア機墜落 ・国会論戦スタート ・皇室 ・銃乱射とトランプ ・「ブラジルのトランプ」大統領に ・ハロウィーンで一部が暴徒化 ・横浜市でバス衝突による七人死傷、バス運転手が直前に気絶か ・スポーツ報道 ・23Today インドネシアで旅客機が墜落 国会論戦 携帯料金値下げ 東京医科大学 就活ルール ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会論戦スタート：結論→不十分 <p>国会運営および国会論戦について取り上げられていた。</p> <p>今日は高市早苗衆議院議院運営委員長の国会改革私案、国会論戦での立憲民主党による質疑、自由民主党による質疑、国民民主党による質疑、自民党内の議論、経緯の説明、スタジオでのやり取りの場面に大別されるものだった。このトピックについて当てられた時間は467秒で、それぞれの場面への時間配分及びその比率は以下の通りである。</p>		



高市私案では、私案には国会のコスト削減や一般質疑の機会を減らすことなど国会の改革案が書かれていること、これに対して野党側は中立であるべき委員長が相談なく改革案を提示したことを問題視したことが伝えられ、野党の反応として立憲民主党の辻元清美国対委員長の「改善だと称して、ペーパーにしてですね、お配りになった。議運委員長だったら何だって自分でできるんだって言う勘違い、これ安倍政権の特徴じゃないでしょうか。」という発言が取り上げられていた。野党の反発を受けて、高市氏が譲歩し45分遅れで始まったとのことが伝えられるとともに、高市早苗衆院議院運営委員長の「大変ご迷惑のかかる話でございますので、日付と肩書は取らせていただきました。」というコメントが取り上げられていた。

立憲民主党による質疑では、憲法改正については立憲民主党の枝野代表が安倍総理が憲法改正を急ぐ姿勢を示していることを強く批判したと伝えられるとともに、枝野代表の「総理は所信表明で国の理想を語るものは憲法とおっしゃいました、しかし憲法は総理の理想を実現するための手段ではありません。総理の勘違いは今に始まったことではありませんが、ここでもう一度申し上げます。総理、憲法とは何か、一から学び直してください。」という質問が取り上げられていた。また、外国人労働者の受け入れ拡大に向けた入管難民法改正案については枝野代表の「見切り発車では日本の人権レベルが国際社会から問われかねず、大きな禍根を残します、受入体制の整備にいくら予算をつけて具体的に何をするのか、明確な説明を求めます。」という質問に対し、安倍総理が「新たな受け入れ制度は深刻な人手不足に対応するため真に必要な業種に限り一定の技能を有する即戦力となる外国

人材を期限を付して我が国に受け入れようとするものであります。」と答える場面が取り上げられていた。

自由民主党による質疑では稲田朋美筆頭副幹事長の「自衛隊を誰からも憲法違反などとは言わせない。そのためにも憲法改正は急務だと思いますが総理のご所見を伺います。」という質問に対し、安倍総理が「全ての自衛隊員が強い誇りを持って任務を全うできる環境を整えることが今を生きる政治家の責任であります。与党野党と言った政治的立場を超えてできるだけ幅広い合意が得られると確信しています。」と答える場面が取り上げられていた。また、入管難民法改正案については移民受け入れにつながるのではという懸念が示されましたことが伝えられるとともに、稲田筆頭副幹事長の「なし崩し的な移民政策につながるのではないかの指摘もあります、これらの不安、懸念をどのように払拭されるのか総理のお考えを伺います。」という質問に対し、安倍総理の「言うまでもなく安倍政権としていわゆる移民政策を取る考えはありません。」と答える場面が取り上げられていた。

国民民主党による質疑では入管難民法改正案について玉木雄一郎代表の「定住も可能と言うならどれくらいの人数が定住すると見込んでいるのか示してもらいたい。」という質問に対し安倍総理が「受け入れの希望や医療保険への影響に関しては現在、14の業種について外国人材受け入れの希望が示されており、受け入れの見込み数を精査しているところです。」と答える場面が取り上げられていた。

自民党内での議論では、厚労部会と法務部会が取り上げられていた。厚労部会では小泉進次郎厚労部会長の「25名からご意見ご指摘があったということがありました、その一つ一つに不明確な部分、答えられるようではなくてはこれから国会が持つわけがありません。日本は労働力不足の中、日本で働きたい、活躍したい、そういった方々に対して安心して日本で生活ができる環境を整えなくてはいけない。」というコメントが取り上げられていた。法務部会ではこれまで外国人労働者の人権擁護や労働環境の整備を求める声などが相次いだほか移民解放につながると言った反対論が噴出し取りまとめが先送りされていたが今夜山下法務大臣も出席するという異例の形をとった上で三時間半に渡る議論の末に了承されたことが伝えられた。また、青山繁晴参院議員の「僕は声を出して、私は了承していません、全員一致ではないということは確認させてくださいと申しました。」というコメント、石原宏高衆院議員の「だいぶ意見集約と言うか問題点も浮き彫りになって国会での審議もありますし、さらに議論を深めていきたいですね。」というコメント、山下貴司法相の「しっかりと受け止めて、良い制度に、日本にとって良い制度にしていきたいと思います。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「今日の自民党法務部回の議論は手続的に、こちら閣議決定に至る前の事前審査という段階なんですね、異論噴出とありますが、今後は公明党も含めた与党での合意が必要となりますね。」

星浩「そうですね、しかしまあ臨時国会始まってますからね始まってから審議が与党内の審議が紛糾するのは非常に異例なことですね。そのためにこの国会は12月10日までですからね、時間がどんどんなくなってきている、という様子ですね。」

駒田健吾「今日、与党、あの自民党だけでもですね、あれだけ議論が紛糾した、これどうしたんでしょうか。」

星浩「まあ基本はですね、外国人労働者の受け入れにどう向き合うかと言うところで色んな意見が実はあるんですね。まあ労働力が不足しているからそれを補えばいいんだ、っていう意見から、いやそうは言っても日本人に近いような待遇で受け入れなくちゃいけない医療とか教育とかね、そういうのを含んだまま合意してますのでまだまだその議論は不十分ということだと思いますね。加えてその野党には外国人労働者と共生すべきだ、ともに一緒に生きるですね、そういう考えもありまして、国会で本当に十分、国の形に関わりますからね、十分議論

する法案でこれから四十日そこそこでまとめるような法律ではないと思いますね。」

VTR で取り上げられていた自民党の意見ではそもそも外国人労働者受け入れに対して慎重あるいは反対の意見も取り上げられていた。しかし、スタジオで星キャスターは外交人労働者受け入れについての議論で「色々な意見が実はある」として「労働力が不足しているからそれを補えばいいんだ」という意見、「日本人に近いような待遇で受け入れなくちゃいけない医療とか教育とか」という意見、「外国人労働者と共生すべきだ」という野党にある意見、こうした外国人労働者受け入れに賛成の意見を紹介した一方で、そもそも外国人労働者受け入れに慎重あるいは反対の意見があることは取り上げていなかった。VTR では取り上げていたものの、スタジオで他の意見ほど理由のところまで掘り下げられていないという点で扱いに差が生じていた。また、賛成の理由が取り上げられる一方で反対の意見は存在だけが取り上げられその理由が取り上げられていないというのは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして不十分であると言える。

・皇室：結論→特に問題なし

絢子様と守谷慧さんの結婚式が絢子様の母、久子様、守谷さんの父、治さんら 30 人余の親族が見守る中、非公開で行われたことが報じられるとともに、絢子様の父、高田宮様は絢子様が 12 歳の時に心臓の病で突然倒れ 47 歳でこの世を去ったとのこと、守谷さんが手にもつシルクハットは亡き父へ娘の思いが込められたものであることが伝えられた。

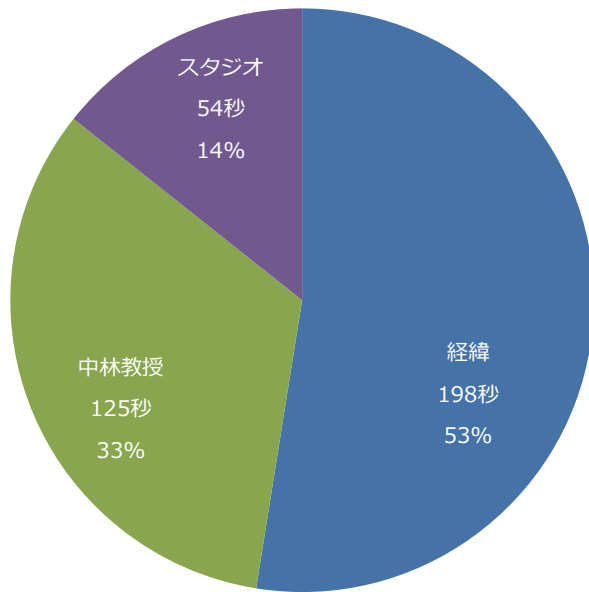
また、絢子様の「シルクハットは父のものをお貸ししているので、なにかすごく嬉しい気持ちでいっぱいです。父がここにいないことがとても残念ではありますが父もきっとこの結婚を喜んでくれていると思いますし、父と母のような夫婦になれるよう努力していきますと伝えたいと思います。」というコメントと守谷さんの「二人でしっかり手を取り合ってくださいね、前を向いて笑顔のたえない家庭を築いてまいりたいとこのように考えております。」というコメントが紹介されていた。

このトピックに当てられた時間は 162 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・銃乱射とトランプ：結論→問題あり

17 人が死亡したというアメリカの銃乱射事件について取り上げられていた。

このトピックについては経緯が伝えられる場面、アメリカ政治を専門とする早稲田大学の中林美恵子教授の見解を紹介する場面、VTR を承けてのスタジオでのやり取りの場面に大別された。このトピックに当てられた時間は 385 秒で、それぞれの場面への時間配分および比率は以下の通りであった。



経緯については VTR に入る前のスタジオで駒田キャスターにより「今回の事件はヘイトクライム、つまり人種や宗教などに対する差別や憎悪を動機とする犯罪と見られています。トランプ大統領はその言動で憎悪を助長し社会を分断させたと指摘されていますが、今回ターゲットにされたのはそんなトランプ氏とも関係が深いユダヤ教の人々でした。」と伝えられたほか、VTR 中ではナレーションにより「アメリカ、リッツバーグで起きた銃の乱射事件。11 人が死亡し、警察官も含む 6 人が負傷しました。犯行に及んだのは白人の男、バウアーズ容疑者はこう叫んでいたといいます、ユダヤ人は皆殺しだ。現場となったのはユダヤ教の礼拝施設。事件の二時間前バウアーズ容疑者は SNS にこんなコメントを投稿をしていました。」という説明がされるとともに、バウアーズ容疑者の Twitter での「ユダヤ人の難民支援団体は侵略者を連れてくる、それによって我々の中摩が殺される傍観してられない、やっぺやる。」という投稿が取り上げられていた。

中林教授の見解については以下に朱記したかっこうで取り上げられていた。

ナレ「アメリカの政治、社会に詳しい専門家は。」

中林美恵子（早稲田大学教授：アメリカ政治）「トランプ大統領の刺激的な発言、刺激的な立ち位置、こういったものが行動を起こす一つ起爆剤になっている可能性は十分にありますね、今回の犯人というのは白人で、そしておそらく白人至上主義者か、どちらかと言うとネオナチ、トランプ大統領の移民政策と半ユダヤあるいは白人至上主義の人たちというのはある意味共鳴している部分があります。」

ナレ「宗教や人種差別を動機としたヘイトクライム、今回ヘイトの標的となったのはトランプ大統領とも関係の深いユダヤ系でした。娘のイヴァンカ氏とその夫のクシュナー氏はユダヤ教徒、トランプ氏自身も相次いでイスラエルよりの制作を続けるなどユダヤ系を重要な支持基盤の一つとしているのです。では、なぜトランプ氏に共鳴するような容疑者はユダヤ系を標的にしたのでしょうか。」

中林美恵子「やっぱりお互いに、利用しあっていた、そういう側面が今回にじみ出たということなんですね、白

人至上主義そして反ユダヤの人たちってというのは大統領になった人でさえこういうことを言ってるじゃないかって言うことで自分たちの正当性を訴える力になっている。それを推し進めるためにだけ、トランプ大統領を利用できればいいのであって、そしてトランプ大統領自分が当選したり、あるいは自分が応援している議員たちが当選するためにその期間だけ利用できればいいのであって、反ユダヤの人たちが自分の狭いイデオロギーの主張をするために特別な行動を起こしてしまって、トランプ大統領からしたら大変迷惑ということになるし非常に皮肉な結果なんですね。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「トランプさんの差別的な発言がアメリカの分断を進めているという批判があって、でもそれがトランプ一家とも関係の深いユダヤ教徒への攻撃にまで広がっていますから中林さんのおっしゃるように皮肉ですね。」

星浩「トランプさんは来週中間選挙、重要な選挙と言っていましたけど、まあ今度の中間選挙は重要な選挙ですけど異例な選挙ですよ、今までの中間選挙は医療保険だとか減税だとか政策が対立していましたけれど、今回は感情の対立といますかね、その人種だとか宗教というのが中間選挙にまで影響を及ぼしているということですよ、先週そのアメリカの政府に勤める友人と話したんですけど、トランプさんが分断したアメリカっていうのは仮にトランプ政権が終わってもね、このまま分断っていうのは続くんじゃないかって非常に心配していましたね。」

スタジオでの星キャスターの「今までの中間選挙は医療保険だとか減税だとか政策が対立していましたけれど、今回は感情の対立といますかね、その人種だとか宗教というのが中間選挙にまで影響を及ぼしている」というコメントについては、確かに従来の選挙では政策論の争点は医療保険や減税ひいては大きな政府か小さな政府かというのが主な争点・対立点として取り上げられていたものの、人種や宗教が選挙に全く影響しなかったかというところではなく、そもそも人種や宗教によって政党への選好が異なるというのはトランプ以前から一貫して見られていた現象であり、それこそ共和党支持者は白人男性やプロテスタントに多く民主党支持者はマイノリティに多いという話はトランプ氏以前から言われ続けてきたことであり、トランプ氏の登場によって始まったことではない。

また、駒田キャスターの「トランプ大統領はその言動で憎悪を助長し社会を分断させた」と指摘されています」というコメントについても、「トランプ大統領が社会を分断させた」と誰が指摘しているのかは明言していなかった。しかし、そもそも一定年齢を迎えると自動的に選挙権や被選挙権が与えられる日本とは異なり、選挙人登録をして初めて選挙権を得ることができるという仕組みの中で選挙人登録の段階から政党の働きかけがあるのがアメリカの選挙人制度である。アメリカとはそうした社会で、二大政党政治の中で政党から有権者への働きかけが行われることで各州も共和党の州（レッド・ステート）、民主党の州（ブルー・ステート）、接戦州（スイング・ステート）と明確に色分けされている。そして、選挙で勝敗の鍵を握るのはスイング・ステートということからも、レッド・ステートとブルー・ステートの間には分断はあり続けたわけである。そうした分断が選挙のたびに顕在化するというだけの話であり、これもトランプ氏が分断させた、というのは言い過ぎであろう。

このようにスタジオでの発言ではアメリカの分断というのを事実反して過度にトランプ大統領に帰責するような論調が目立った。これは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同三号の「報道は事実をまげないですること」に照らして問題であるといえる。

- ・「ブラジルのトランプ」大統領に：結論→特に問題なし

南米のブラジルで大統領選挙で決選投票が行われ極右候補のボルソナロ下院議員が勝利したこと、またボルソナロ下院議員についてその過激な発言からブラジルのトランプと呼ばれていることが伝えられた。

また過激な発言の例として、議会で「(女性議員に対し)私をレイプ犯呼ばわりしたがあなたは(レイプされるほどの)価値がない。」と発言した字幕やボルソナロ氏の「武器は私達の命を守る以上に自由を守るものだ。」という発言が取り上げられていた。

ボルソナロ氏勝利の背景として、ブラジルでは左派政権のルラ元大統領が収監される汚職事件が起き汚職撲滅を強く訴えたボルソナロ氏への追い風となったとのことが取り上げられていた。

また、勝利したボルソナロ氏の「ブラジルを偉大で自由で繁栄した国にするため変革をするのです。」というコメントが取り上げられていた。この選挙結果を受け市民の間で衝突もおこっていること、ボルソナロ氏は来年1月1日、大統領に就任するとのことも伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 96 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・携帯料金値下げ：結論→特に問題なし

通信大手の NTT ドコモが携帯電話の料金プランを来年度から値下げする方向で検討していることがわかったとのこと、値下げ幅は収益減とのバランスを考慮して詰めるとしているとのこと、また KDDI とソフトバンクも値下げの検討を始めているということが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 22 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・東京医科大学：結論→特に問題なし

東京医科大学の不正入試問題で 2006 年以降に受験をした 24 人の女性が大学側に慰謝料などを請求したこと、請求書には入試成績の開示や受験料の返還と慰謝料合わせて 770 万円などが含まれていること、弁護士は納得行く対応がなければ損害賠償を求める訴訟も検討するとしているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・就活ルール：結論→特に問題なし

学生のいわゆる就活ルールについて経団連が廃止をした後も国が主導する形で存続させることが正式に決まったとのこと、2021 年春に入社する学生の就職活動でも従来どおり企業説明会は 3 月に解禁で面接は 6 月に解禁するとしているとのことが伝えられた。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・「ブラジルのトランプ」大統領に：結論→問題あり

大統領選を制したボルソナロ下院議員を「極右候補」と評していたが、今回の報道ではボルソナロ候補の政策は汚職撲滅以外伝えられていなかった。「極右」とまで言うくらいなのだから、極右と判断できるような根拠を

NEWS23 週刊報告 詳細版

示す必要はあるだろう。実際の政策論や政治姿勢などを見て視聴者が「極右だ」と判断するのであれば問題はないが、そうした判断材料を示すことなく一方的に「極右だ」と報じるのは視聴者に実際の政策論とは関係のないところで極右という印象を与えてしまう可能性があり、問題であると言える。

検証者所感

・就活ルール

民間企業の就活ルールについて政府が主導することが決まったとのことであるが、民間就活のスケジュールと公務員試験の日程の関係はどのようになるのだろうか、気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月30日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：韓国徴用工訴訟、日本のオンライン授業がネパールへ、国会と消費増税、東京電力訴訟 辺野古基地、宮腰大臣、絢子さんと守谷さんの晩餐会		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国徴用工訴訟 ・ハロウィーンの渋谷 ・日本のオンライン授業がネパールへ ・国会と消費増税 ・東京電力訴訟 ・辺野古基地 ・宮腰大臣 ・スポーツ報道 ・23Today 韓国徴用工訴訟 東京電力訴訟 絢子さんと守谷さんの晩餐会 横浜市路線バス7人死傷事故 イタリア・ベネチアで大規模浸水 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国徴用工訴訟：結論→特に問題なし <p>戦時中に駆り出され日本で強制労働させられたとして元徴用工の韓国人4人が新日鐵住金に損害賠償を求めていた裁判で韓国の最高裁は今日、企業側の上告を棄却し、一人あたりおよそ一千万円の賠償を命じる判決が確定したこと、この問題は解決済みとしていた日本側は強く反発しているとのことが報じられた。</p> <p>また、日韓の立場の相違については1965年に国交正常化した日本と韓国、この時結ばれた日韓請求権協定に「請求権に関する問題が完全かつ最終的に解決されたこととなることを確認する。」と記されていること、日本はこの請求権問題の解決と引き替えにする形で韓国に対し多額の経済援助を実施したこと、韓国の世論は日本の領事館の外に徴用工像を設置しようとして騒ぎになったことや、主人公が過酷な労働を強いられた末に仲間と団結し脱出するというフィクションの徴用工を題材にしたフィクションの映画が公開されたことが取り上げられ、徴用工問題が再燃したきっかけの一つが2012年に韓国の最高裁判所が出した「個人の請求権が消滅したと解することはできない」という判断で、韓国の最高裁は「1965年の日韓請求権問題はあくまで国と国との約束、個人の請求権はなくなっておらず、日本企業に対して個人が賠償を求める権利はある、という理屈」を取っているとのことが伝えられた。</p>		

原告の李春植さんの「4人で裁判を起こしたのに私一人しかいなくて、悲しくて涙が出てきます。」というコメントが取り上げられたほか、判決後に開かれた会見での李洛淵首相の「司法の判断を尊重する。被害者の傷が癒やされるよう努力する。」というコメントが取り上げられていた。また、判決を受けて韓国の国民の声として「当然な判決だと思います。」「日本は正当に自己利益だけを考えず韓国批判をしなくて済んでほしいと思います。」というのがあげられた。

対して日本の反応として安倍総理の「今般の判決は国際法に照らしてありえない判断だと思います、日本政府としては毅然と対応してまいります。」というコメントや、河野外務大臣の「両国の友好関係の基盤となってきた法的基盤を根本から覆すものであると思います。国際社会の常識では考えられないことが起こっています。」というコメントが取り上げられた。また、武藤正敏元駐韓大使の「無償資金協力の中に徴用工に対する補償もなんかも全部含まれているわけですよ、で、韓国もそういう認識だったわけです、それは国際的な常識だと。」や「今は訴訟を起こしていない人も訴訟を起こしていく、そうなった場合本当に日韓関係、にっちもさっちもいかない場合になりかねない非常にこれは危険の大きな判決だったと私は思います。で韓国政府はどうするんですかね、私も見通しはありません。」というコメントが取り上げられたほか、経団連の中西宏明会長の「この判決が日韓の経済のいろいろな今後の関係に変な影響を及ぼさなければいいな、と。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「国と国で約束したはずの協定がなぜ保護になってしまったのでしょうか。」

星浩「あの、多くの国ではですね、条約を政府が結ぶんですね、その後その国会に承認を求めてこれで国民の意思だということ形で形にするわけですが、一方で民主主義の国は三権分立というルールもありますからね、今回はその司法は独自の判断ができると、いうことで韓国の最高裁が独自の判断をしたという形ですよ。」

駒田健吾「その韓国司法が下した今回の判決によって当然、日本の国民感情を刺激しますし、その後どんなところに波紋が広がりそうですか。」

星浩「まあ更にね、訴訟が続く可能性がありますし、第三者の仲介という動きも出るかもしれませんね。まあいづれにしても20年前、当時の小渕総理と金大中大統領でこれからはその未来志向でいこう、と約束したんですね、日韓は、ですから韓国はその精神をもう一回振り返って、自制してもらいたいとそういうところですよ。」

このトピックに当てられた時間は511秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・日本のオンライン授業がネパールへ：結論→特に問題なし

スタジオでの雨宮キャスターの「続いては教育による格差をなくそうというある画期的な取り組みを追いました。」という発言に駒田キャスターが「国会では外国人労働者を巡る論戦が繰り返されていますが、日本で今急激に増えているのがネパール人です、その数10年前の七倍以上、8万5000人あまり。一方で一年に1000人もネパール人が出稼ぎ先の中東などで劣悪な環境の中なくなっていると言われていて、ネパールの未来を救うため、日本のユニークな教育法を取り入れようという動きが始まっています。」と応え、VTRが流された。

VTRでは与那国島で町が授業料を負担し、現役の東大生がインターネット中継で授業をするという塾を始めたことで与那国島の子どもたちの学力が向上したこと、この仕組みをネパール人のライ・シャラドさんがネパールでも行おうとしていることが取り上げられていた。また、ネパールの教育環境についても伝えられていた。

なお、冒頭で国会で外国人労働者を巡る論戦についての言及があったものの、今日の報道では外国人労働者に

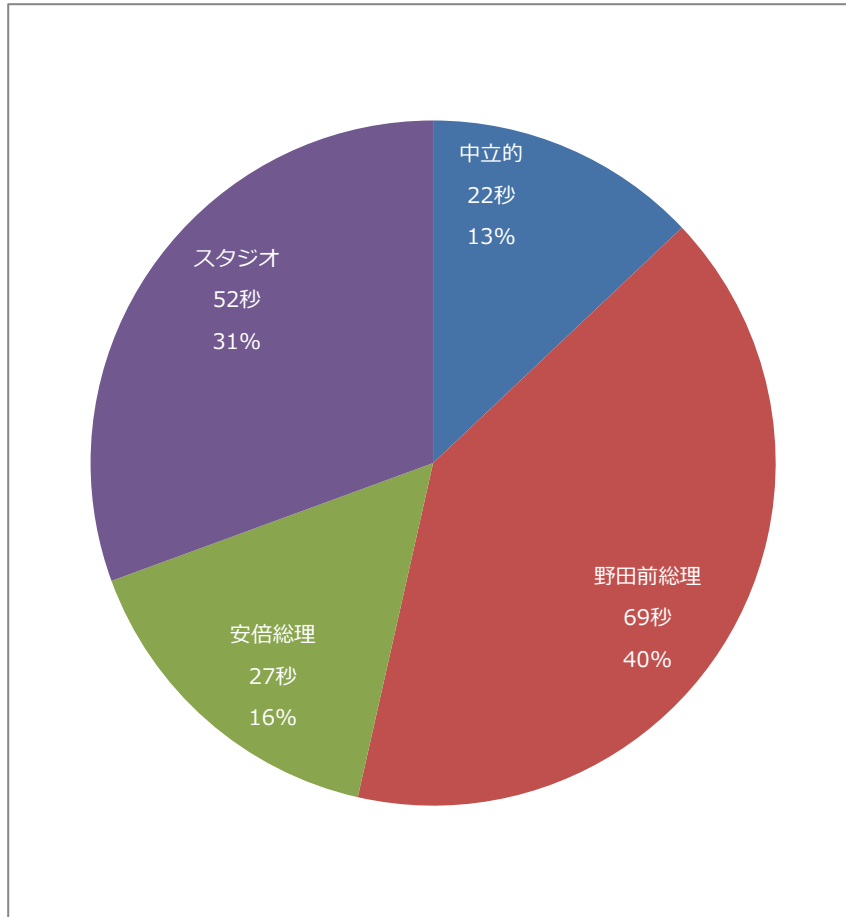
については触れられていなかった。

このトピックに当てられた時間は 399 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・国会と消費増税：結論→問題あり

消費増税と議員定数削減を巡って野田前総理と安倍総理が国会で対決したことが報じられた。

経緯説明など中立的な場面、野田前総理の主張を取り上げた場面、安倍総理の主張を取り上げた場面、スタジオでの論評という 4 つの場面に大別された。このトピックに当てられた時間は 170 秒で、それぞれの場面への時間配分及び比率は以下の通りである。



野田前総理の主張では消費増税については野田前総理の「ネクストエレクトションよりもネクストジェネレーション、次の選挙よりも次の世代を、これが三党合意の精神ではないですか、全くわかっていないと思いました、突然、選挙の争点にするということはまさに政争の具にしたと同じではありませんか。」という発言が取り上げられるとともに、ナレーションにより「六年前、総理大臣として消費税を 10% に引き上げる三党合意を自民公明両党と取りまとめた野田氏、その消費税引き上げを二階延期した安倍総理の責任を厳しく追及しました。」という補足がなされていた。また、定数削減については野田前総理の「六年前の党首討論であなたと私は消費税を引き上げる前に国会が身を切る覚悟を示すため議員定数の削減をする、こう約束を致したはずであります。しかし、衆院における削減数は少なすぎる上に参院においては信じられないことに 6 つも増やすことになりました。」とい

う発言が取り上げられていた。

対して安倍総理は消費増税については「消費税の使いみちを大きく変更する以上、国民に信を問うのは当然のことではないでしょうか。」と、議員定数削減については「衆議院の定数 10 削減、10 削減が実現したところであり、党首討論の約束を誠実に守っていないという指摘は全く当たらないわけであります。」と応えていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「野田さんは消費増税に強い思い入れがあるんですね。」

星浩「この二人の論争というのは実は私重い意味を持っていると思うんですね。安倍さんはですね、景気が、増税しても景気が悪くなつては元も子もないという立場ですよ。野田さんは景気回復しても財政再建できない、そう簡単じゃないんだ、やっぱりその人気はなくとも増税を国民にお願いするしかないという立場で、実はその与野党の内部でもその考え方ありまして、もうちょっとこの消費税に向けてですね、その与野党の中で本当にその景気回復で財政再建ができるのかどうか、かなりその本質的な議論を進めていたいという気がしますね。」

野田前総理と安倍総理の論争については星キャスターの言う通り、景気重視の安倍総理と財政再建優先の野田前総理の論争という優先順位や重視するものの違いである。また、与党の内部にも野田前総理に近い財政再建重視の考え方があるということも事実である。しかし、他方で、与党の内部や野党にも消費税増税の延期ではなく凍結を求める声であるとか、安倍政権の経済財政政策は「緊縮だ」とする声もある。確かに野田前総理との議論の争点は景気重視か財政再建重視かという違いであるが、今の安倍政権ですら「財政再建重視」の「緊縮」とみなす声があるにもかかわらず、消費増税を巡る議論全体を野田前総理に代表されるような財政再建重視と安倍総理に代表される景気重視の二極へと整理して伝えるのは、論点の所在を歪めて伝えていると言えるだろう。

また、消費増税凍結を求める声や、安倍政権の経済政策を緊縮だとする声がないものであるかのように伝えるというのも消費増税を巡る議論について誤った印象を与えてしまうだろう。

これらは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」や同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題であると言える。

・東京電力訴訟：結論→特に問題なし

福島原発事故を巡って強制起訴された東京電力旧経営陣の裁判で勝俣元会長に対する被告人質問が行われたこと、旧経営陣三人は津波を予測できたにもかかわらず対策を怠ったため原発事故を起こし、避難を余儀なくされた病院の入院患者ら 44 人を死亡させたなどとして業務上過失致死傷の罪に問われていること、昨日の被告人質問で東京電力の元会長勝俣被告は事故に対する責任を問われると、「私にはわかりません。社長は万全ではないのでまずは原子力部門で対策をしていくことが大切だと思った」などと述べたとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 52 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・辺野古基地：結論→特に問題なし

アメリカ軍の基地建設に向け沖縄県辺野古の海を埋め立てる工事が再開される見通しとなったこと、辺野古の埋め立てを巡っては 8 月に沖縄県が埋め立て承認を撤回していたが、石井国土交通大臣はその撤回の効力を一時的に停止すると表明、防衛省は中断していた埋立工事を速やかに再開させる考えを示したことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 28 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・宮腰大臣：結論→特に問題なし

宮腰沖縄北方大臣が11年前に、都内にある議員宿舎の中で酒によって他人の部屋の風呂に無断で入りさらに下着姿のまま別の部屋のインターホンを押した、ということが週刊誌で報じられたことを受けそれを認めたことが報じられた。また宮腰大臣の「深く反省をし、ご迷惑をおかけした方々には改めてお詫び申し上げたいと思っております。」というコメントが取り上げられていた。

このトピックに当てられた時間は31秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・絢子さんと守谷さんの晩餐会：結論→特に問題なし

おととい結婚式を上げた高円宮家の三女絢子さんと守谷慧さんの結婚を祝う晩餐会が東京都内のホテルで開かれたこと、皇太子ご夫妻や秋篠宮ご夫妻や安倍総理など合わせて70人が出席し皇太子さまは笑いの耐えない明るい家庭をお築きくださいと、二人の門出を祝福されたことが報じられた。

このトピックに当てられた時間は24秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・国会と消費増税：結論→問題あり

スタジオで星キャスターが「この二人の論争というのは実は私重い意味を持っていると思うですね。安倍さんはですね、景気が、増税しても景気が悪くなっては元も子もないという立場ですよね。野田さんは景気回復しても財政再建できない、そう簡単じゃないんだ、やっぱりその人気はなくとも増税を国民にお願いするしかないという立場で、実はその与野党の内部でもその考え方ありまして、もうちょっとこの消費税に向けてですね、その与野党の中で本当にその景気回復で財政再建ができるのかどうか、かなりその本質的な議論を進めていたいという気がしますね。」と論点を整理していたが、ここでは与党の内部にも野党の一部にも存在する消費増税の凍結という意見には触れられていなかった。消費増税を巡っては安倍総理よりも更に消費増税に対して反対の意見が一定程度あるにもかかわらずこうした意見を取り上げないことで、消費増税を巡る意見の分布が本当は増税と延期に加えて凍結があるにもかかわらず、視聴者には増税か延期かという分布であるかのような印象を与えてしまうもので、印象操作の疑いがある。

検証者所感

- ・韓国徴用工訴訟

新日鐵住金に対する賠償金請求の問題が日韓関係という観点のみで取り上げられていたが、そもそも新日鐵住金株式会社は株式会社であることから当然であるが株主のものであり、日本国民の所有物でもなければ日本国政府のものでもない。また新日鐵住金のホームページ (<http://www.nssmc.com/ir/stock/overview.html>) によると、株主比率に占める外国法人等の割合は26%である。今回の報道では株主という点は取り上げられなかったが、株主という視点から考えるとこの問題は日韓の国民感情や政府間関係のみに収まる問題ではないのではなかろうか。

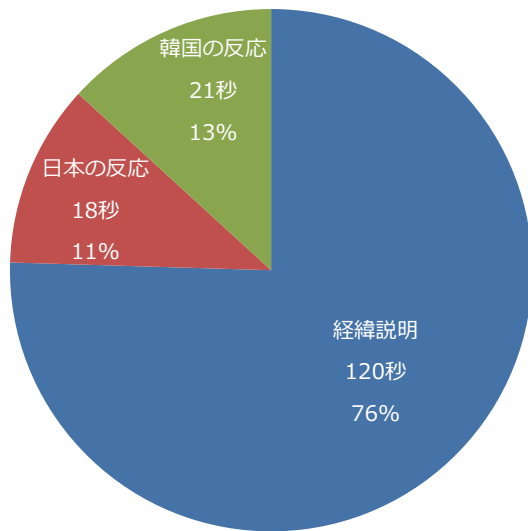
NEWS23 週刊報告 詳細版

- ・宮腰大臣

この問題を取り上げた週刊誌については 11 年も前の不祥事をよく見つけてきたなど驚きを感じるとともに、なぜ発覚当時から今に至るまで問題とされなかったのに、大臣になった今になって週刊誌で取り上げられたのか、今までわからなかったのか、という点が疑問に思った。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年10月31日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：徴用工判決、米・国境移民キャラバン、米・中間選挙、TPP 年末に発効、辺野古埋め立て 米・出生地主義廃止を検討、与那国町議長決まる		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン騒動 ・徴用工判決 ・米・国境移民キャラバン ・米・中間選挙 ・TPP 年末に発効 ・辺野古埋め立て ・三重で電車と車が事故 ・スポーツ報道 ・NEWS23 <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン騒動 ・徴用工判決 ・米・出生地主義廃止を検討 ・与那国町議長決まる ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徴用工判決→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 <p>今回は韓国の最高裁で徴用工に対する判決が有罪とされた問題で、日本政府の反応と今後予想される動きについて報道された。今トピックに当てられた報道時間は131秒で、経緯説明・日本の反応・韓国の反応に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



日本の反応と韓国の反応の内容は以下の通り。

河野外務相「韓国政府に対して、しっかりとした毅然とした対応を取るよう求めました。」

ナレーター「今朝、韓国のカン外相と電話会談し、厳しく抗議した河野大臣。カン外相からは韓国政府内でこの問題について協議を開始した、と回答があったということです。自民党の外交部会でも韓国を批判する声が相次ぎました。」

中曽根弘文（自民党・元外相）「約束を守れないという国。国家としての体をなしていないのではないかと。」

ナレーター「昨日、韓国の最高裁は日本の新日鉄住金に対して元徴用工の韓国人 4 人に賠償金を支払うことを命じる判決を下しました。今朝の韓国の新聞には、『77 年徴用の恨み。21 年の訴訟の未晴らす』一方で、日韓関係の悪化を懸念し、両国政府の対話が必要だとする論調も目立ちました。」

韓国の人「お互いの意見が一致しないと知っている。時間が経つにつれ、縮まるどころかどんどん遠ざかっていると思います。心配です。」

ナレーター「こうした中、日本企業を相手取った裁判は今日も、『賠償しろ。賠償しろ。賠償しろ。』韓国の光州にある高等裁判所に姿を見せたキム・ジェリムさん。戦時中に名古屋の軍事工場で強制労働させられたとして三菱重工に損害賠償を求める訴訟を起こしています。」

キム・ジェリムさん「生きている間に私達の願いを叶えてくれれば心残りはありません。」

今報道の中心は経緯説明であるが、それ以外の時間配分は公平であり、この点は評価できる。しかし、経緯説明が全体の 50% を超すという点は評価できない。もっと多くの論点を紹介する形での報道が望ましいと考えられる。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・米・国境移民キャラバン→結論：特に問題なし

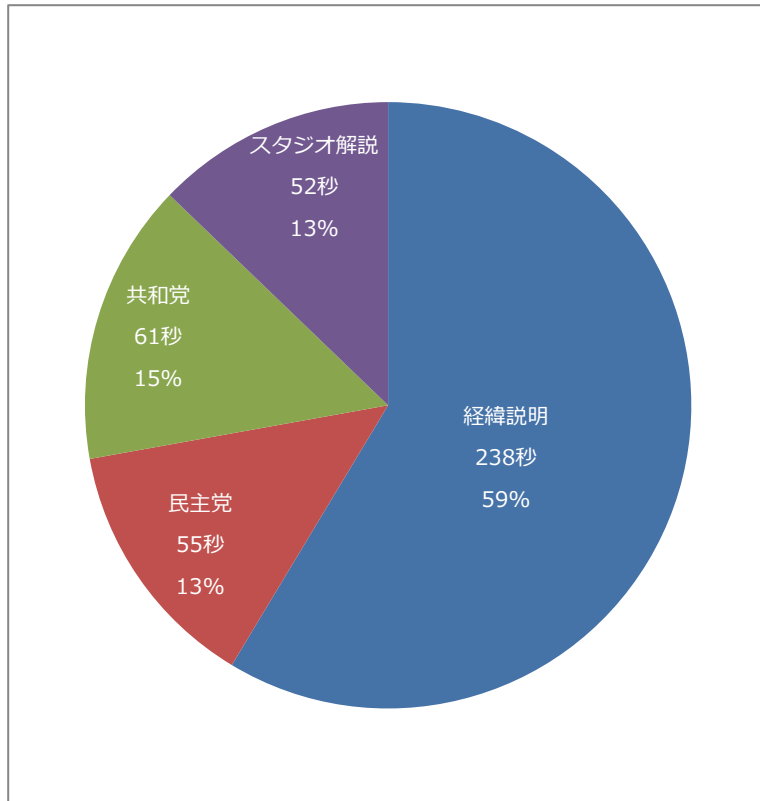
今回は中米からアメリカへの移民を目指すキャラバンが移動中であることが伝えられた。今トピックに当てら

れた報道時間は 131 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・米・中間選挙→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回はアメリカの中間選挙が近づく中で下院選挙において野党・民主党が巻き返しを図っていることと、それに対してトランプ大統領を含む共和党の選挙戦について伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 413 秒で、経緯説明・民主党・共和党・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



民主党、共和党についての報道内容は以下の通り。

トランプ大統領「共和党のリーダーシップでアメリカの経済は拡大、繁栄、勝ち続けている。『アメリカ第一主義』にしたから。」

皆川「選挙戦ではトランプ大統領、いつもの強気な発言を続けていますが、こちらの数字を御覧ください。44。これは今年に入ってからのトランプ大統領の選挙集会の数です。オバマ前大統領の一期目の中間選挙は 14 回ですから、比べると 3 倍もの集会を駆け回っていることになります。なぜこんなにも駆け回っているのでしょうか。実は、相手の野党、民主党が選挙戦終盤で大変な巻き返しを見せているからなんです。」

トランプ大統領「ただちに国境の壁を建設する。彼らは人間じゃない。動物だ。これまでにない速さで悪い移民を追い出す。」

ナレーター「奇抜な政策を打ち出してきたトランプ大統領。なぜ、このようなことができるのか。それは議会上院、下院でトランプ氏率いる共和党が多数を占めてきたからです。ところが。中間選挙では全議席が改選とな

る下院で野党、民主党がやや優勢という調査結果が出ているのです。上院と下院で多数派が異なるねじれの可能性が出てきました。」

トーマス・ホルブルック教授（ウィスコンシン大学）「ねじれが起きるとトランプ氏は厳しい状況に追い込まれます。共和党内でトランプ氏に抵抗する勢力が結集する可能性もあります。」

ナレーター「思い通りの政権運営ができなくなるかもしれない。トランプ氏にとっては負けられない戦いなのです。共和党の重鎮が 20 年間も議席を守ったウィスコンシン州の選挙区。この保守的な選挙区で全米注目の異変が起きています。」

ブライス候補（民主党）「中間選挙に向け、民主党の波が来ている。」

ナレーター「異変を起こしたのは野党、民主党から立候補したブライス氏。特徴的な口ひげで、鉄工所の作業員といういわば労働者出身。有権者への浸透力が強く、立候補を表明したビデオは 83 万回も視聴され、一躍時の人となりました。」

ブライス「トランプを止めるには議会で多数を取らなければ。今は共和党が議会を支配していて、誰も何もやらない。」

ナレーター「そんな彼を熱っぽく応援するのは民主党の次期大統領候補として有力視されているサンダース上院議員です。」

サンダース上院議員（民主党）「トランプ大統領。我々は後ろではなく、前へ進む。人々を一つにするのだ。」

ナレーター「ブライス候補は 45%対 44%と相手の共和党候補を僅差でリード。全米が注目するブライス氏は民主党巻き返しの象徴となっています。」

ナレーター「一方のトランプ大統領も共和党候補を応援するためウィスコンシン州に乗り込みます。」

レポーター「この空港の格納庫の外は気温は 0 度近いんですが、中はトランプ支持者の熱気で溢れています。」

ナレーター「強く訴えたのは。」

トランプ「新たなアメリカ・メキシコ・カナダの自由貿易協定はウィスコンシンの製造業、農家、酪農家にとっても大勝利だ。」

ナレーター「ウィスコンシンは全米随一の酪農州。トランプ氏は前回の大統領選で農業復活を訴えこの州を激戦の末、制して、中間選挙でも負けられません。乳牛を 500 頭飼育するダニエルズさんも大統領選でトランプ氏に投票した一人です。」

ダニエルズさん「生乳の価格は過去 3, 4 年間停滞した。今年 400 以上の酪農家が廃業したと思う。」

ナレーター「トランプ大統領の貿易戦争のあおりで生乳の価格は一層下がっていますが。」

ダニエルズ「トランプ大統領の政策については評価している。生乳の価格がもっと早く上がってくれればと思うが、長期的には良い方向に向かっていると思う。」

ナレーター「大統領選でトランプ氏を支持した農家の 8 割は依然支持しているという調査もあります。民主党の追い上げを振り切ってトランプ流を貫くことができるのか。審判の時が迫っています。」

民主党と共和党に関する報道の時間配分は公平である。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

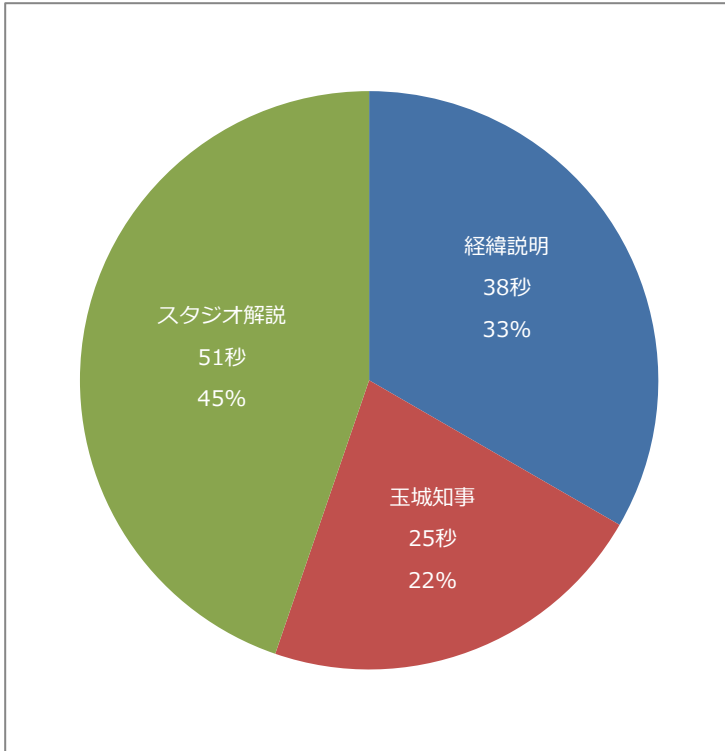
・ TPP 年末に発効→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は TPP が発効の基準を満たしたことで、年末に発効する予定であることが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 74 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・辺野古埋め立て→結論：放送法第四条第一項第四号に違反。

今回は沖縄県が埋め立て承認の撤回を行ったことでストップしていた工事が再開されることが伝えられ、それに対する玉城沖縄県知事の反応が伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は 114 秒で、経緯説明・玉城知事・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



スタジオ解説の内容は以下の通り。

雨宮「知事選が終わってまだ一ヶ月ですよね。それでも政府側は辺野古の埋め立てを強行するんですね。」

星「この間辺野古移設反対を掲げたデニーさんが勝ちました。それから東アジアでは北朝鮮の非核化の動きがあるし、日中の関係が非常に改善しているという状況があるわけですが、それにも関わらず問答無用で埋め立てということなんですよ。それから沖縄が埋め立ての承認を撤回したんですけども、それに対して沖縄防衛局が撤回の方針を廃止するように言っているんですけども、この政府部内だけでのやり取りでこういうことが決まっていくというのは、何となく自作自演というか出来レースという感じがありまして、こういうやり方で沖縄の方の理解を得るとするのは難しいと思います。」

星キャスターは「それから東アジアでは北朝鮮の非核化の動きがあるし、日中の関係が非常に改善しているという状況があるわけですが、それにも関わらず問答無用で埋め立てということなんですよ。」と述べているが、そもそも辺野古への移設は 1996 年の日米首相合意から始まり、2006 年の日米ロードマップにおいて現行案に決定された事項である。20 年以上前に決定されたことについては本トピック中では全く触れられていない。

現状を持ち出し、埋め立てが不当であるかのような発言が行われたことは印象操作と言わざるを得ない。

本トピックは放送法第四条第一項第四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に違反していると考えられる。

・米・出生地主義廃止を検討：結論→特に問題なし

人種憎悪による銃の乱射事件で11人が死亡したアメリカペンシルヴァニア州のユダヤ教会でトランプ大統領はユダヤ教徒である長女らとともに犠牲者を追悼しましたが、現場付近では数千人規模の抗議デモも行われたこと、トランプ氏は国内で生まれた子供に国籍を与える出生地主義を大統領令で廃止する検討をしていることが明らかになったこと、出生地主義は憲法で規定されていて実現性は不透明ですが来週の間選挙を前に子供の国籍取得を目的とした移民の流入に厳しい姿勢を示す狙いがありそうであるとのことが報じられた。

このトピックに当てられた時間は44秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・与那国町議長決まる：結論→特に問題なし

沖縄県与那国町議会では与野党の議員が同数で議長を引き受けてしまうと少数派になってしまうため、議長の当選後の辞退が続いていたものの、99回目の選挙でようやく決まったことが報じられるとともに、新議長に選ばれた前西原武三氏の「苦渋の選択をし、議長を引き受けさせていただきます。」というコメントが取り上げられた。

このトピックに当てられた時間は44秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

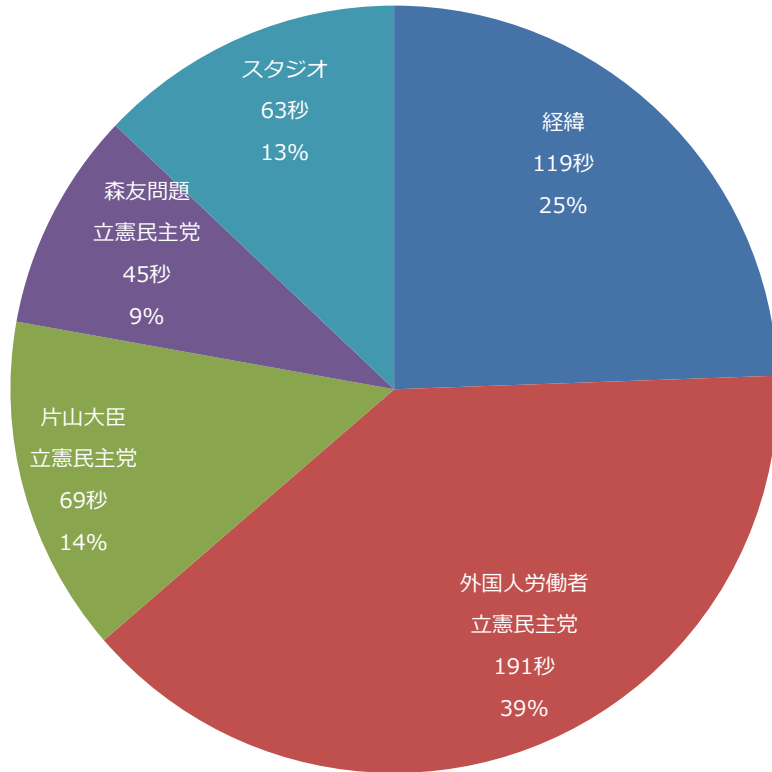
・米・出生地主義廃止を検討

トランプ大統領がユダヤ教会で犠牲者を追悼していたが、現場付近での数千人規模の抗議デモというのは、何に対する抗議なのかはよくわからなかった。

アメリカで不法移民の問題が深刻になっている理由の一つは出生地主義を取っていることで、不法移民であっても、彼らがアメリカで生んだ子供にはアメリカ国籍が与えられることもあり、不正に入国した人々がアメリカで子供を生むことでなし崩し的に居座るといった問題につながっているこの問題については今後もっと掘り下げた報道がされることが期待される。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月1日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：衆議院予算委員会、移民キャラバン		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院予算委員会 “外国人労働者” と “口利き疑惑” ・寝屋川中1男女殺害 初公判 ・夫婦と娘 家族3人逮捕 特殊詐欺に加担の疑い ・米国目指す「移民キャラバン」 ・“渋谷ハロウィーン” 13人逮捕 ・JAL 副操縦士 基準値以上のアルコールによりイギリスにて逮捕 ・韓国企業会長、社員に暴行 ・スポーツ報道 ・23today <ul style="list-style-type: none"> 片山大臣と“政治とカネ” 中1男女殺害 土下座で… 大激戦 日本シリーズ第5戦 “平成最後”年賀はがき発売開始 JAL 副操縦士 イギリスで飲酒 安田さん あす会見へ 移民キャラバン スケボー世界選手権 日本人V 渋谷ハロウィーン 13人逮捕 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院予算委員会→結論：特に問題なし <p>国会審議について、経緯の説明、外国人労働者に関する法案について立憲民主党による質疑、片山さつき氏の口利き問題について立憲民主党による質疑、森友学園の問題について立憲民主党による質疑、VTRを承けてのスタジオでのやりとりの場面が取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は487秒で、それぞれの場面への時間配分は以下の通りであった。</p>		



外国人労働者についての質疑では

長妻昭（立憲民主党衆議院議員）「安倍総理にですね、外国人労働者拡大の哲学を、まず法くくりの哲学をお尋ねしたいのですが」

ナレーション「この国会、最大のテーマとなる外国人労働者の受け入れ拡大」

安倍晋三（首相）「家族の方々と来られて、永住する方々がどんどん増えていくということを念頭におっしゃっているのであれば、そういう政策は、私たちは取らないということは今まで再々申し上げている通りでございました。いわゆる移民として受け入れるという政策をとるわけではない」

ナレーション「移民ではないと繰り返す安倍総理」

長妻昭「結局この法案で、何人外国人労働者が増える見込みになるのですが」

山下貴司（法相）「まず移民ということについてでございますけど……」

長妻昭「人数聞いてるだけ。だめ、また時間が無い」

ナレーション「野田委員長も」

野田聖子（予算委員長）「法務大臣、簡潔に答えてください。簡潔に答えてください。簡潔に、簡潔にお答えください」

山下貴司「どれだけ入れるのかを精査しているところ」

長妻昭「結局最後の一言じゃないですか、まだ分からない」

野次「時間稼ぎだ！」

長妻昭「当然上限はつけるんでしょうね、上限。受け入れ人数の」

山下貴司「今回はですね、数値として上限を設けることは考えておりません」

ナレーション「長妻議員は、受け入れ枠を拡大する前に、すでに受け入れが行われている技能実習生の待遇改善が先ではないかと指摘します」

長妻昭「失踪者ですね、技能実習生で。今年の1月から6月まで何人くらい失踪されましたか」

山下貴司「4279名という風に聞いております」

長妻昭「これ異常ですよハッキリ言って。異常ですよ。逃げた方が悪いのか。私は一概にそうとは思いません。全然話が違う。逃げざるを得ない、このままでは死んでしまう。こういう現状をほったらかしておいて技能実習制度を残したまま今度は特定技能1号2号と広げてどんどん入れていくと。非常に無責任じゃないですか」

ナレーション「労働者の受け入れには、労働環境の整備や賃金水準の確保などが必要なのは、との問いかけに、安倍総理は」

安倍晋三「外国人財の受け入れが必要と認められる業種に限って行うものでございまして、そうした懸念はあたらない、そして日本人と同等の報酬が払われることを前提にしてることも付け加えておきたいとこのように思います」

ナレーション「懸念にはあたらないとしましたが、具体策には言及しませんでした」

片山大臣の問題については以下に朱記した2つの場面が取り上げられていた。

【場面1】

逢坂誠二（立憲民主党衆議院議員）「片山大臣が国税庁に口利きをして、百万円のお金の動きがあったといったようなことが複数のメディアで流れているわけですが」

片山さつき（地方創生相）「わたくしが企業への違法な口利きをしたこともなければ、百万円を受け取ったこともございません」

【場面2】

逢坂誠二「X氏（会社経営者）とされている方とお会いになったことはありますか？」

片山さつき「当該企業経営者の型と（2015年）7月にお会いしております。正確な日にちにつきましては訴訟上の問題でございますので控えさせていただきます」

ナレーション「片山大臣はすでに出版社を名誉棄損で提訴していて、司法の場で事実を明らかにすると説明しました。」

逢坂誠二「大臣が訴えているんです、相手を。だから大臣の正当性をどんどん主張すればいいと思うんです。それを今訴訟中だから喋れないとするのは責任逃れ、説明逃れじゃないですか」

ナレーション「片山大臣によると、出版社を相手取った裁判は来月3日に最初の公判が開かれるということです」

森友問題については以下に朱記したやり取りが取り上げられた。

長妻昭「自ら命を絶たれた方に対して、麻生大臣ご自身の政治責任、どうお考えですか？」

麻生太郎（財務相）「近畿財務局の職員が亡くなられたということは誠に悲しい話だと思っております。静かに謹んでご冥福をお祈りするものであります」

ナレーション「紙を読みながら答弁した麻生氏に」

長妻昭「何かこれ、ご冥福をお祈りするのに役所が書いた紙を読むのですか？総理はどういう風に思われますか？」

安倍晋三「大変痛ましい出来事でございますし、徹底して再発防止に努めていかなければならないと考えています」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられた。

雨宮「色々思うことはありますが、まず驚いたのは外国からの技能実習生が今年は半年で 4000 人以上失踪しているということですね」

星「そうですね、その技能実習に上乘せする形で新しく外国人労働者を受け入れるわけですからね、よほどしっかりした制度設計をしなくちゃいけませんよね。今度の政府案を見るとやはり人手不足を補うんだという発想が強くて外国人労働者とどういふ風に向き合うのかという理念とか全体像とかが欠落していますよね」

駒田「そしてもう一つ、今日森友文書の改ざんで麻生大臣の責任を問うという質問がありましたよね」

星「自殺者が出たわけですけども、麻生さんの部下ですよね。それに対してどういふ風に対応するのかというと答弁書を棒読みしたというのが気になりますよね。森友文書の改ざんとか自殺の問題に麻生さんはどういふ風に本音で考えているのか、それを訴えないということではどうも釈然としないという思いが遺族の方にも出ていますね」

今回取り上げられた質疑は全て立憲民主党によるものだった。今回一日の取り上げ方を持って直ちに問題があるとは言えないものの、他の放送日と比較して、立憲民主党による質疑のみが突出して多く取り上げられているとしたら、それは放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」や同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題となってくる可能性はある。

・移民キャラバン→特に問題なし

ホンジュラスでの貧困、治安悪化を受けてアメリカへの移民を目指す人々の紹介が行われ、その流れでトランプ大統領のキャラバンへの見解や移民問題を、11月6日の中間選挙への影響を絡めて紹介されていた。このトピックに当てられた時間は 352 秒で、放送法第四条の観点から特に問題は見られなかった。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮「中間選挙は 5 日後にせまっていますから、トランプ大統領としてはやっぱり移民に対して強硬姿勢を印象付けたいということなんでしょうね」

星「そうなんでしょうね。トランプさんが不法移民排除を掲げてきましたから共和党のそういうことを支持する人たちは勢いづくでしょうね。一方中南米系のヒスパニックの有権者は強く反発するでしょうし民主党のリベラル系の移民に寛容な人たちも反発するということなんで、考えてみるとこれこそまさに分断ということなんですよ。昔あるアメリカ人がこういうことを言っていましたね。”我々はほとんどの人が移民なんだと。200 年前に来たのか 100 年前に来たのかの違いだけだ” という人がいましたけど、そういうアメリカの価値が分断によって失われていくという感じですよ。」

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・衆議院予算委員会

スタジオで星キャスターが「今度の政府案を見るとやはり人手不足を補うんだという発想が強くて外国人労働者とういう風に向き合うのかという理念とか全体像とかが欠落していますよね」とコメントしていた。人手不足を補うために外国人労働者を受け入れるのだ、という発想は星キャスター好みの考え方ではないのかもしれないが、外国人労働者とういう向き合うのかという理念や全体像の一つには違いない。むしろ、労働力として外国人労働者を見た場合に、労働力をどうマネジメントするのかであるとか、労働力から外れた場合はどうするのかとういう部分の議論のほうがやや抜けているのではないだろうか。

・移民キャラバン

スタジオで星キャスターが「そうなのでしょうね。トランプさんが不法移民排除を掲げてきましたから共和党のそういうことを支持する人たちは勢いづくでしょうね。一方中南米系のヒスパニックの有権者は強く反発するでしょうし民主党のリベラル系の移民に寛容な人たちも反発するということなんで、考えてみるとこれこそまさに分断ということなんですよね。昔あるアメリカ人がこういうことを言っていましたね。”我々はほとんどの人が移民なんだと。200年前に来たのか100年前に来たのかの違いだけだ”という人がいましたけど、そういうアメリカの価値が分断によって失われていくという感じですよ。”とコメントしていたが、トランプ大統領が問題視している移民とういうのは不法移民であって、合法的な移民まで排除しようとしているわけではない。また、移民について非合法的に入国する人たちまで受け入れるのか、という点で分断があるとしても、それはそもそも先行して不法移民とういう状況があるからで、トランプ大統領によって分断がもたらされたとういうのは少し違うのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

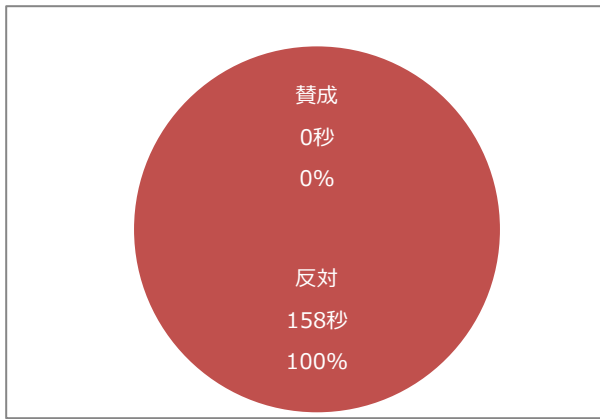
テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年11月2日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：安田純平氏が拘束3年を語る、米中間選挙を前にムーン監督新作公開 入国難民法改正案が閣議決定、片山大臣の口利き疑惑に新事実 航空自衛隊 F2 戦闘機が接触事故、NHK 札幌局ディレクターが音声ファイルをアレフに誤送信</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田純平氏が拘束3年を語る ・米中間選挙を前にムーン監督新作公開 ・入国難民法改正案が閣議決定 ・片山大臣の口利き疑惑に新事実 ・航空自衛隊 F2 戦闘機が接触事故 ・NHK 札幌局ディレクターが音声ファイルをアレフに誤送信 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 安田氏が自己責任論について語る 米中間選挙を前にムーン監督新作公開 伊藤忠商事がスポーツ用品大手デサントの株買い増し グーグルでセクハラ問題 秋の褒章で羽生氏など 797 人 ・スポーツ情報 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田純平氏が拘束3年を語る→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>シリアで拘束、解放された安田純平氏がスタジオに招かれ拘束時の状況や自己責任論について自らが語っていた。安田氏は自らが拘束されたときについて「最初はスパイ容疑だったのでスパイ容疑であれば何とか晴らすことも可能だと思っていたんですがスパイ容疑というのは終わったと言いながらさらに別の場所に移動すると言われたときにもう半ば崩れ落ちましたよね。これ以上やるとなると人質を狙っているんだなと思ったんで、その時はかなりショックでしたね。」と話していた。</p> <p>また自己責任論について話題が上った際には安田氏が臨席する中で市民のインタビュー映像が流され「色々な世界のためにあいつの活動をされているんだからそこまで言われるのは気の毒。」という肯定的な意見や「取材するのはいいが国や人に迷惑をかけてはいけない。」「自己責任ではあると思う。そこまで報道の必要性を感じたことはないです。」とのコメントが報じられた。</p> <p>これを受けて安田氏は「現地に入る特に紛争地ですから自分自身で相応の準備をしなければいけないのは当たり前前で自分の身に起こることははっきり言って自業自得ですからそれは自己責任を負う者があるのは当たり前ですけども、そのことと政府がすべきことは全く関係ないですよ。どんな人間であろうと、どんな準備</p>		

をしていようと、どんな政治的立場であろうと政府は機械的に邦人保護というのは発動しなければいけないものなので、日本の外務省であってもなかなか正しい情報をつかむのすら大変だったというのが、お話を聞いていてもわかりましたので、そういう意味では自己責任でやる部分が非常に大きいですね。」と語っていた。

全体を通して安田氏に配慮する内容ではあったものの本人を直接招いての報道である点や、市民の賛否双方の意見を安田氏臨席の中で流した点を考慮すると放送法上問題はないと考える。なお報道時間は 699 秒であった。

- ・米中間選挙を前にムーア監督新作公開→結論：放送法第四条第一項二号、四号に抵触のおそれ

米中間選挙を前に新作を公開した M.ムーア監督への直撃した様子が伝えられた。トランプ大統領に対して否定的な意見を反対、肯定的な意見を賛成として集計したところ以下のような比率および時間となった。なおトピックスの合計時間は 335 秒だった。



賛成意見は皆無であった。否定的な意見としては M.ムーア監督の「現状はあまりにひどいすぐに修正しなければトランプは車を暴走させて崖から落としてしまうよ。我々が乗っている車をね。」というコメントや映画内で登場する銃規制に反対する高校生たちの「トランプ大統領に言う。結束でなくて分断をもたらすなんて。あなたのせいで若者が殺されている。」との発言が紹介されていた。

また日本の安倍総理とトランプ大統領の関係について話が及ぶと M.ムーア監督は「2人が一緒にいるときはトランプは安倍首相がどれだけ俺のことを好きか見てみろって感じだ。彼はトランプがいかれた奴だってことは分かっているんだよね？トランプは彼が大好きなんだ。なぜなら、安倍首相はいつもトランプにニコニコして何か贈り物をしている。確認したいんだけど彼もおかしくなっているのかい？ってこと。トランプにあれだけ構って……。もし安倍首相の態度を真に受けるなら彼はトランプを称賛し強い指導者として憧れているように見えるね。」と語っていた。

M.ムーア監督のコメントについてスタジオからのコメントはなく映画作品の公開にあたっての、あくまで作品の紹介という形で一定の公平性を保とうとする姿勢が垣間見えられたが、M.ムーア監督の映画内容が極めて政治的なメッセージ性を有するのは初めから考えられたことであり、そういった映画についての紹介を映画のレビューをするような番組ではなくニュース放送の中で放送すること自体が公平性に反するのではないかと。またトランプ大統領についての映画であるのに、安倍総理との関係性についてコメントを求めている点も映画作品に便乗して政権批判につなげようとしていると考えられても致し方ない。以上のことから放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること。」また主張の大半が M.ムーア監督に委ねられている点などから四号の「意見が対立して

いる問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に抵触していると考えられる。

・入国難民法改正案が閣議決定→放送法第四条第一項二号に照らし合わせると不十分

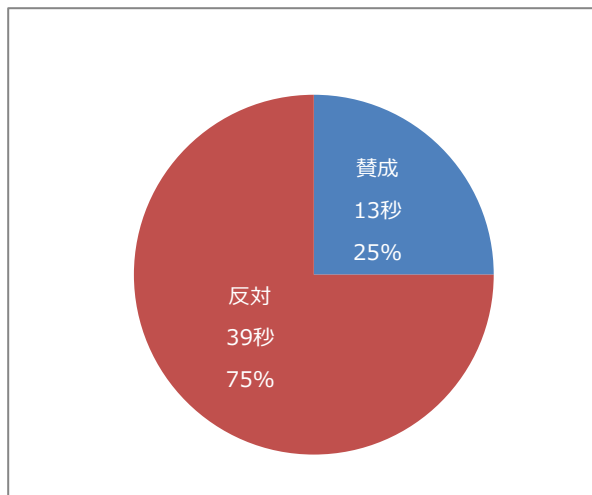
単純労働の分野でも外国人の就労を認めることなどが盛り込まれた入管難民法改正案について閣議決定されたことについての報道。この法案について立憲民主党の長妻昭衆院議員は「業種はどういう根拠に基づいて選定するのか、一切何も分からないままのですね、がらんどうの法案と」話していた。

また答弁を担当していた山下法相について星浩氏は「検事出身で訴訟とかそういうのが得意なんでしょうけど、入国難民の問題それから労働者の働き方改革、外国人労働者の働き方の問題について、それほど知見があるわけではないですね。こういう問題はですね、全省庁にまたがる問題なので本来なら官邸主導で内閣が束ねるのが必要なんですね。例えば郵政民営化の時に竹中さんがですね答弁を一手に引き受けて広告塔の役割を果たしたのですけど、今回の法案はそういう人はいないのでちょっとそういう点では大丈夫かなという気がしますよね。」とコメントしていた。

今回の報道では与党側からの法案についての具体的なコメントが見られず放送法第四条第一項二号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らし合わせると不十分であると言える。なおこのトピックスは 179 秒だった。

・片山大臣の口利き疑惑に新事実→結論：他放送日との総合的な判断が必要

片山さつき大臣の口利き疑惑について、国会議員の私設秘書に発行される国会の通行証が口利きを仲介したとされる税理士におよそ 3 年半の間、片山氏が貸与していたことが明らかになったことについての報道。このトピックスに割り当てられた時間は 151 秒だった。片山氏に肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として賛否の時間配分及び比率は以下の通りだった。



賛成意見としては片山大臣本人の「紀章交付申請書を昨晚問い合わせたが 3 年以上たっているということで今現在さらに問い合わせ確認しているところ。」との答弁が

反対意見としては立憲民主党の小川淳也衆院議員による「紀章を交付したということは、これもう逃れられないと思いますよ。潔く自ら一連のことを認めて辞任されるのが最善かと思います。」と辞任を求めるコメントが報

じられていた。

全体を通して否定的な意見が目立ち「放送法第四条第一項二号の政治的に公平であること。」に抵触するおそれがあるものの片山大臣が確認中として明確な反証を出来ていない点を考慮すると他の放送日との総合的な判断が必要であると考ええる。

・航空自衛隊 F2 戦闘機が接触事故→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

福岡県の航空自衛隊築城基地に所属する F2 戦闘機 2 機が九州西方の空域で訓練中に接触する事故を起こしたことについての報道。航空自衛隊は垂直尾翼の一部やミサイル発射装置の一部が損傷した写真を公開し当時の状況を調べていることについても併せて報じられた。なお放送法上、賛否が分かれる点は見られなかった。このトピックスは 40 秒報じられた。

・NHK 札幌局ディレクターが音声ファイルをアレフに誤送信→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

NHK 札幌局ディレクターがインタビューの音声ファイルをオウム真理教の後継団体アレフに誤ってメール送信していたことについての報道。このトピックスは 35 秒報じられ賛否が分かれる点や放送法上の問題点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし